

(1 枚目:タイトル)

「認知機能を支援する機器」の利活用に関する研究についてご説明いたします。

(2 枚目:認知機能支援機器とは)

- ・課題処理において認知機能を支援する機器は、「認知機能支援機器」と称され、対象者の認知機能や生活の改善に働きかけます。
- ・例として、次の作業への切り替えを支援する機器として、タイムエイドなど、  
今がいつなのかわかるように支援する電子カレンダーや、  
薬を飲み忘れないよう支援する服薬支援機器、  
不安やストレスを軽減させる機器として、セラピー人形やセラピーロボットなどがあります。

(3 枚目:背景と目的)

- ・リハビリテーションにおいて認知機能を支援する機器は、認知機能障害を有する方に対して、生活の自立を支える効果が期待されています。
- ・しかし、これらの支援機器の研究開発が進む一方で、個々の認知機能障害や生活障害は多様であり、その特性に合わせた支援機器を十分に活用できていない現状があります。
- ・そのため、この研究では、認知機能を支援する機器提供の実態把握をもとに、有効な提供方法を検討し、これらの支援機器の有効活用、普及の促進を目指しています。

(4 枚目:実態調査)

認知機能を支援する機器提供の実態把握として、これらの支援機器の提供に関わるリハビリテーション専門職などを対象に、アンケート調査及びインタビュー調査を実施いたしました。

結果より、専門職の認知機能支援機器の提供に至る支援の経験は少なく、支援機器の種別により提供状況も異なることが示されました。

今後は、認知機能を支援する機器の有効な提供方法や支援体制を検討し、必要とする対象者に、適する機能を有した支援機器の提供が可能となるよう、研究を進めてまいります。